【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成31年4月4日(2019.4.4)

【公表番号】特表2018-538278(P2018-538278A)
【公表日】平成30年12月27日(2018.12.27)
【年通号数】公開・登録公報2018-050
【出願番号】特願2018-526657(P2018-526657)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　8/25　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　1/02　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　19/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　8/72　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　8/25
Ａ６１Ｑ　1/02
Ａ６１Ｑ　19/00
Ａ６１Ｋ　8/72

【手続補正書】
【提出日】平成31年2月21日(2019.2.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
化粧品メークアップ組成物またはスキンケア組成物によって与えられる温度快適性を改善するために、２Ｗ・ｍ$^{-1}$・Ｋ$^{-1}$以下の熱伝導率を有する少なくとも１種の粉末の使用。
【請求項２】
温度快適性の改善が、蒸し暑さの典型的な条件（３０℃で７５％の相対湿度）下での毛穴の視認性を軽減する、または低温乾燥の条件（７℃で４０％の相対湿度）下での赤みを軽減することにより得られることを特徴とする、請求項１に記載の使用。
【請求項３】
前記粉末が、球状または層状の形状を有する鉱物粒子または有機粒子であり、前記化粧品組成物に不溶性であることを特徴とする、請求項１または２に記載の使用。
【請求項４】
前記粉末が、タルク、シリカ、アルミナ、ケイ酸アルミニウム、ホウケイ酸アルミニウム、ケイ酸マグネシウムおよびケイ酸アルミニウム、ベントナイト、ＴｉＯ$_2$およびＳｉＯ$_2$でコーティングされたセラミック微小球、リン酸カルシウム、硫酸マグネシウム、炭酸マグネシウム、カオリン、窒化ホウ素、セルロース、雲母、ＰＭＭＡ粉末、ポリアミド、シリコーン樹脂、あるいはシリコーン樹脂でコーティングされていることがあるシリコーンエラストマー粉末、ならびにそれらの混合物の中から選択されることを特徴とする、請求項１から３のいずれか一項に記載の使用。
【請求項５】
前記粉末が、窒化ホウ素、タルク、雲母、ＴｉＯ$_2$およびＳｉＯ$_2$でコーティングされたセラミック微小球、ガラス球、磁器、ならびにそれらの混合物の中から選択されることを特徴とする、請求項１から４のいずれか一項に記載の使用。

【請求項６】
前記粉末が、窒化ホウ素、TiO_2およびSiO_2でコーティングされたセラミック微小球、ならびにそれらの混合物の中から選択されることを特徴とする、請求項１から５のいずれか一項に記載の使用。
【請求項７】
$2 W \cdot m^{-1} \cdot K^{-1}$以下の熱伝導率を有する前記粉末を含む前記化粧品組成物が、粉末、エマルジョン、マイクロエマルジョン、ナノエマルジョン、懸濁液、溶液、ローション、クリーム、水性ゲルもしくは水アルコールゲル、フォーム、セラム、無水組成物、またはエアゾール分散剤の形態であることを特徴とする、請求項１から６のいずれか一項に記載の使用。
【請求項８】
$2 W \cdot m^{-1} \cdot K^{-1}$以下の熱伝導率を有する前記粉末を含む前記化粧品組成物が、流体組成物の形態であることを特徴とする、請求項１から７のいずれか一項に記載の使用。
【請求項９】
$2 W \cdot m^{-1} \cdot K^{-1}$以下の熱伝導率を有する前記粉末を含む前記化粧品組成物が、ルースパウダー、コンパクトパウダーまたはキャストパウダーの形態であることを特徴とする、請求項１から８のいずれか一項に記載の使用。
【請求項１０】
$2 W \cdot m^{-1} \cdot K^{-1}$以下の熱伝導率を有する前記粉末が、それを含む前記化粧品組成物の総重量に対して、０．１～５０重量％であることを特徴とする、請求項８に記載の使用。
【請求項１１】
$2 W \cdot m^{-1} \cdot K^{-1}$以下の熱伝導率を有する前記粉末が、それを含む前記化粧品組成物の総重量に対して、１０～９０重量％であることを特徴とする、請求項９に記載の使用。
【請求項１２】
前記化粧品組成物が、$2 W \cdot m^{-1} \cdot K^{-1}$以下の熱伝導率を有する前記粉末以外の、少なくとも１種の追加的な充填剤をさらに含むことを特徴とする、請求項１から１１のいずれか一項に記載の使用。
【請求項１３】
前記化粧品組成物が、顔料、真珠層、および水溶性または脂溶性の着色剤から選択される、少なくとも１種の着色材料を含むことを特徴とする、請求項１から１２のいずれか一項に記載の使用。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１４３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１４３】
組成物３－ｇおよび３－ｆを調製するために使用された手順は以下の通りである：
－　プロピレングリコールおよびブチレングリコール中で、３円筒グラインダーを使用して、窒化ホウ素および顔料を粉砕する、
－　約７５℃で２０分間、リン脂質を水和させるために、ＣＥＳ－１１０４および／またはＣＥＳ－３４０１を除いた水相の全ての成分を混合する、
－　７５℃でおよそ１０分間、高せん断下で、油相の全ての成分、ＵＶ濾光剤およびソフトフォーカスパウダーを混合する、
－　均質な混合物が得られるまで混合する、
－　７５℃、高せん断下で、油相を水相にゆっくり添加し、およそ１０分間、これらを混合する、

－　高せん断下で周囲温度まで冷却する、
－　ＣＥＳ－１１０４および／またはＣＥＳ－３４０１を添加してエマルジョンとする、および
－　再び混合し、周囲温度で均質にする。
なお、本発明には、以下の実施形態が包含される。
［１］化粧品メークアップ組成物またはスキンケア組成物によって与えられる温度快適性を改善するために、２Ｗ・ｍ$^{-1}$・Ｋ$^{-1}$以下の、好ましくは０～２Ｗ・ｍ$^{-1}$・Ｋ$^{-1}$の間の、より好ましくは０．１～１．５Ｗ・ｍ$^{-1}$・Ｋ$^{-1}$の間の熱伝導率を有する少なくとも１種の粉末の使用。
［２］温度快適性の改善が、蒸し暑さの典型的な条件（例えば、３０℃で７５％の相対湿度）下での毛穴の視認性を軽減する、または低温乾燥の条件（例えば、７℃で４０％の相対湿度）下での赤みを軽減することにより得られることを特徴とする、［１］に記載の使用。
［３］前記粉末が、球状または層状の形状を有する鉱物粒子または有機粒子であり、前記化粧品組成物に不溶性であることを特徴とする、［１］または［２］に記載の使用。
［４］前記粉末が、タルク、シリカ、アルミナ、ケイ酸アルミニウム、特にガラス球などのホウケイ酸アルミニウム、フッ素金雲母などのケイ酸マグネシウムおよびケイ酸アルミニウム、ベントナイト、TiO_2およびSiO_2でコーティングされたセラミック微小球、ヒドロキシアパタイトなどのリン酸カルシウム、硫酸マグネシウム、炭酸マグネシウム、カオリン、窒化ホウ素、セルロース、雲母、ＰＭＭＡ粉末、ポリアミド、ポリメチルシルセスキオキサンなどのシリコーン樹脂、あるいはシリコーン樹脂でコーティングされていることがあるシリコーンエラストマー粉末、ならびにそれらの混合物の中から選択されることを特徴とする、［１］から［３］のいずれか一項に記載の使用。
［５］前記粉末が、窒化ホウ素、タルク、雲母、TiO_2およびSiO_2でコーティングされたセラミック微小球、ガラス球、磁器、ならびにそれらの混合物の中から選択されることを特徴とする、［１］から［４］のいずれか一項に記載の使用。
［６］前記粉末が、窒化ホウ素、TiO_2およびSiO_2でコーティングされたセラミック微小球、ならびにそれらの混合物の中から選択されることを特徴とする、［１］から［５］のいずれか一項に記載の使用。
［７］２Ｗ・ｍ$^{-1}$・Ｋ$^{-1}$以下の熱伝導率を有する前記粉末を含む前記化粧品組成物が、粉末、エマルジョン、マイクロエマルジョン、ナノエマルジョン、懸濁液、溶液、ローション、クリーム、水性ゲルもしくは水アルコールゲル、フォーム、セラム、無水組成物、またはエアゾール分散剤の形態であることを特徴とする、［１］から［６］のいずれか一項に記載の使用。
［８］２Ｗ・ｍ$^{-1}$・Ｋ$^{-1}$以下の熱伝導率を有する前記粉末を含む前記化粧品組成物が、流体組成物の形態であることを特徴とする、［１］から［７］のいずれか一項に記載の使用。
［９］２Ｗ・ｍ$^{-1}$・Ｋ$^{-1}$以下の熱伝導率を有する前記粉末を含む前記化粧品組成物が、ルースパウダー、コンパクトパウダーまたはキャストパウダー、特にコンパクトパウダーの形態であることを特徴とする、［１］から［８］のいずれか一項に記載の使用。
［１０］２Ｗ・ｍ$^{-1}$・Ｋ$^{-1}$以下の熱伝導率を有する前記粉末が、それを含む前記化粧品組成物の総重量に対して、０．１～５０重量％、好ましくは１～２０重量％、より好ましくは２～１５重量％であることを特徴とする、［８］に記載の使用。
［１１］２Ｗ・ｍ$^{-1}$・Ｋ$^{-1}$以下の熱伝導率を有する前記粉末が、それを含む前記化粧品組成物の総重量に対して、１０～９０重量％、好ましくは２０～８０重量％、より好ましくは３５～７０重量％であることを特徴とする、［９］に記載の使用。
［１２］前記化粧品組成物が、２Ｗ・ｍ$^{-1}$・Ｋ$^{-1}$以下の熱伝導率を有する前記粉末以外の、少なくとも１種の追加的な充填剤をさらに含むことを特徴とする、［１］から［１１］のいずれか一項に記載の使用。
［１３］前記化粧品組成物が、顔料、真珠層、および水溶性または脂溶性の着色剤から選

択される、少なくとも１種の着色材料を含むことを特徴とする、［１］から［１２］のいずれか一項に記載の使用。